

がん患者と家族のための

緩和ケアを知ろう、語ろう

日本人の2人に1人が一生に一度はがんを経験します。いつか自分にも来ることだと思って、緩和ケアについてよく知ったうえ、もしものときにはどうするかを、医療の受け手と担い手と一緒に率直に話し合ってみませんか。

今は知識がついて、理性的に、緩和ケアは最後の段階ではないとわかっていますが、感情的には「緩和ケア」という言葉は、少し怖い言葉かもしれません。



緩和ケアは末期がんだけでなく、がんと診断されたときから、またがん以外の「治らない病気」に対しても必要です。

最初は「うわっ」と思ったけど、2-3週間やそこらで死ぬわけではないとわかって、とても、とても、役に立つものになりました。

1部：ミニ講演

2部：グループでの話し合い

11月30日(土) 13:30~15:30

2月 1日(土) 13:30~15:30

かでの2・7 730研修室

札幌市中央区北2条西7丁目

参加費・申込み不要

直接会場にお越しください

【主催・問合せ】

NPO 法人 市民と共に創るホスピスケアの会
〒060-0061
札幌市中央区南1条西16丁目1-245
レーベンビル3F
TEL/FAX 011-615-6060
E-mail shimin-hospice@nifty.com

【後援】

北海道、札幌市、札幌市医師会、
北海道対がん協会、北海道新聞社

ご好評いただいております
「緩和ケアを知ろう、語ろう！」を今年度は2回開催します。緩和ケアについて、みなさんと率直な話が出来ればと思います。

ひまわりサロンやなのはなの会も毎月開催していますので、是非ご参加ください。